

## 肝がん治療地域連携クリニカルパス運用要項

ご参加いただける患者さんならびに先生方へ

### 1. 対象患者さんについて

肝がん治療地域連携パスの対象患者さんは、原則として以下のすべてを満たす方としています。

- 肝がん治療後または治療中の症例  
抗癌剤内服、持続動注療法および緩和ケア症例は除く  
非代償性肝硬変、肝不全症例は除く
- 癌告知済みで、このパスの適用に同意いただいた方
- 初発・再発は問いません

### 2. 診察していただく時期と役割

患者さんの同意のもと、基幹病院からスタートします。基幹病院受診時に次回の診察予約、検査予約を基幹病院で予約し、受診日の日付をパスに記載します。

基本は3か月後ですが、6か月後の受診の場合はパスの3か月目の行に「×」印を記載します。



#### かかりつけ医の役割

- 日々の診察や投薬を行います。
- 病気の予防・日常の健康管理を行います（生活習慣病などの管理は、身近なかかりつけ医が必要です）。
- 専門的治療（基幹病院や他の専門病院への受診）の必要性を判断します。
- 風邪など一般的な病気のことや、ちょっとした心配ごとなどが気軽に相談できます。

#### 基幹病院の役割

- 節目の診察や検査を行います（かかりつけ医と情報交換しながら行います）。
- 専門的な検査・診察・入院治療・手術などを行います。
- 緊急を要する場合、必要な対応を行います。

### 3. 肝がん治療地域連携パス

この連携パスは3部作成することとし、1部は基幹病院保管用、1部はかかりつけ医保管用、そして残りの1部が患者さん持参用で、実際の連携はこの持参用を通して行います。

診断名やステージ、治療法、合併症などの患者さんの基本的な情報は、基幹病院が上段に記載します。患者さんは赤ファイルに持参用パスを入れ、かかりつけ医を受診してください。かかりつけ医の先生は、パス下段の診療スケジュールにしたがい、診察・検査・投薬を行っていただければと思います。

また、基幹病院ならびにかかりつけ医は、必要時に持参用パスのコピーを作成しカルテに保管いたします。

### 4. かかりつけ医の先生の診療時

初回診療時には、患者さんに以下のものを持参していただきます。

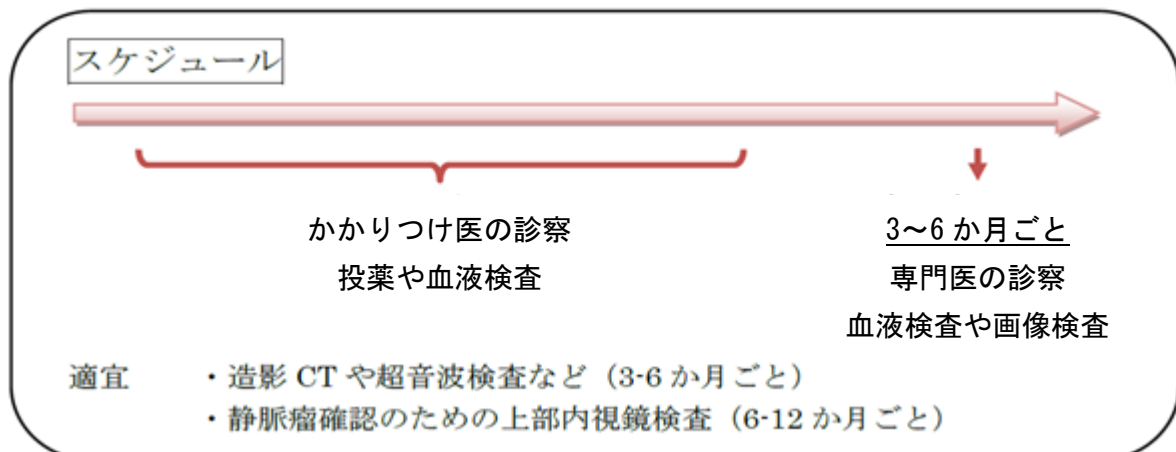
- 患者さん持参用肝がん治療地域連携パス（赤ファイル）
- 診療情報提供書
- かかりつけ医保管用肝がん治療地域連携パス
- その他の資料一式（検査結果、画像結果等は赤ファイル内に）

最初に、診察された日付の記載をお願いします。診察時には血液検査（2か月に1回以上）と投薬、また必要な場合は注射もお願いします。

普段の診療では、身体所見として下腿浮腫、腹水、黄疸、肝性脳症、便秘などの有無を確認してください。肝機能のチェックとして血液検査で白血球数、ヘモグロビン濃度（Hb）、血小板値、AST（GOT）値、ALT（GPT）値、血清アルブミン値、総ビリルビン値を、発がんのチェックとしてAFP値（またはPIVKA-2値）を測定して頂きますようお願い申し上げます（腫瘍マーカー測定時には、管理加算をお願いします）。また、画像診断（超音波や内視鏡）が可能な施設では、必要時に検査をお願いいたします。

数値の記入は必要ありません、検査結果は赤ファイルに入れてください。肝がん、肝硬変の患者さんですので、AFP高値の方や血小板低値の方がおられます。前回値と変化なければ○、いずれかの値に軽度の変化があれば△、有意な変化なら×、と診断結果をパスに記入してください。その他の所見やデータ異常は簡易メモをご利用ください。

気になる所見や判断に苦慮するデータがあれば、該当する欄に×を記入し、基幹病院を受診させて下さい。基幹病院で診察および追加検査を実施いたします。



## 5. 基幹病院受診の前に

基幹病院予定受診前あるいは必要時には、診療情報提供書を記載していただき、郵送または患者さんにお渡しください。

また、患者さんに赤ファイルを必ず持参していただくようお願いいたします。

## 6. 予想される異常と対処法

予想される異常	対処法
発癌が疑われるとき (腫瘍マーカーの持続的上昇、画像所見陽性)	2 週間をめぐりに基幹病院を受診。
腹水のコントロール不良	利尿剤の増量でもコントロール困難な場合は基幹病院を受診。
肝性脳症	下剤、ラクツロース等の増量でもコントロール困難な場合は基幹病院を受診。緊急の場合は救急へ紹介してください。
吐血・下血	救急病院か、基幹病院の救急へ紹介してください。

## 7. 患者さんへ

### ○ 風邪をひいたら？

ちょっとしたケガや日常の相談は、まず、かかりつけ医にご相談ください。  
必要に応じて基幹病院を受診していただきます。

### ○ 食事について：

慢性肝炎や肝硬変の方は塩分の取り過ぎに注意してください。  
インスタント食品やスナック菓子、鉄分の多い食品は控えましょう。  
アルコール摂取は肝機能を悪化させ、肝がん発生の危険性を増大させるため  
禁止です。



### ○ 日常生活について：

腹水や黄疸のある場合を除いて特別な運動制限はなく、むしろ適度な運動が必要です。生活習慣病への配慮も重要です。

### ○ 内服薬について：

薬は飲み忘れず、時間を守って飲むようにしましょう。

### ○ 赤ファイルについて：

ファイルを忘れるなど、患者さんの協力が得られない場合はパス終了となります。

## 8. その他

- 日頃のご診療にお役立ていただけますよう、今後も検討・改良していくつもりです。  
ぜひご利用いただいたうえでの感想など、教えていただけましたら幸いです。

## 9. お問い合わせ先

松江赤十字病院    〒690-8506                    松江市母衣町 200 番地

TEL : 0852-21-2111 (代表)    FAX : 0852-27-9261

0852-32-7813 (地域医療連携室)

平成 25 年 7 月 4 日作成

令和 7 年 8 月 1 日改訂